仕様確認書①

提案機器名：

提案者名：

仕様確認書提出日：

※要求仕様の個別の回答については、「仕様を満たす」「機能を有する」等の回答だけではなく、カタログもしくはその他の資料を用いて明確に提示、回答すること。資料の明示が困難である場合は、別途、担当者と協議すること。

X線発生装置について

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| NO | 仕様 | 回答 |
| 1 | 発生方式は、三相インバータ方式であること。 |  |
| 2 | 発生能力は、50ｋW以上であること。 |  |
| 3 | 管電圧は、40～150ｋVであること。 |  |
| 4 | 大管電流は、500ｍA以上であること。 |  |
| 5 | 発生器コントローラーは壁掛け又は卓上に設置可能なシートキー方式であること。設場所等については当院担当者と協議すること。 |  |
| 6 | アナトミカルプログラム機能を有し、プログラム数は 245 種類以上登録可能であること。 |  |
| 7 | 撮影条件の設定は、当院のDRコンソールと接続し部位毎に自動連動すること | 。 |
| 8 | 超音波距離計により患者皮膚面との距離を計測し、ばく射条件からNDD法に類する手法により入射表面線量（入射皮膚線量）を計算し表示することができること。また計測した線量情報をDRコンソールに接続ができること。 |  |

X線管保持装置について

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| NO | 仕様 | 回答 |
| 1 | X線管保持装置は天井走行装置と１台のX 線管球で構成されること。 |  |
| 2 | 天井固定レールは、広範囲に移動が可能なように長軸方向4m以上のレールであること。（設置等は、当院と協議後決定する） |  |
| 3 | 天井移動レールは、広範囲に移動が可能なように短軸方向3m以上であること。（設置等は、当院と協議後決定する） |  |
| 4 | X線管上下ストロークは1.6m 以上であること。 |  |
| 5 | 水平軸まわりの管球回転角度は、+120°～ -180°以上であること。 |  |
| 6 | 支柱鉛直（垂直）軸まわりの管球回転は±180°以上であること。 |  |
| 7 | 装置固定は、オフロックの電磁ロック方式であること。鉛直軸回転の制御も電磁ロックで行えること。 |  |
| 8 | 立臥位撮影台の上下動とＸ線管が連動する機能を有すること。 |  |
| 9 | 一連のすべての撮影後、臥位撮影台から降りる時、ワンボタンにて上方に退避できる機能を有すること。 |  |
| 10 | 拡大率を一定にするための、ＳＩＤ表示ができること。 |  |
| 11 | 支柱背面のスイッチを有しポジショニングが可能であること。 |  |

X線管装置について

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| NO | 仕様 | 回答 |
| 1 | 極蓄積熱容量は400kHU 以上であること。 |  |
| 2 | 焦点サイズは、小焦点0.6mm以下そして大焦点は1.2mm以下であること。 |  |
| 3 | ターゲット角度は、12度もしくは16度であること |  |

X線可動絞りについて

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| NO | 仕様 | 回答 |
| 1 | 補償フィルターは手差しであること。 |  |
| 2 | ＬＥＤランプを採用し、タイマー方式で有ること。 |  |

検査テーブル（臥位撮影）について

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| NO | 仕様 | 回答 |
| 1 | 天板面の最低位置は、床面から４0cm以下であること。最高位置は90ｃｍ以上であること。 |  |
| 2 | 上昇速度は、最大1.6ｃm/秒以上であること。 |  |
| 3 | 天板は、平面型フローティング方式であること。 |  |
| 4 | 天板の大きさは、80ｃｍ×200ｃｍ程度であること。 |  |
| 5 | 天板ストロークは、長軸方向±40ｃｍ以上および短軸方向±12.5ｃｍ以上であること。 |  |
| 6 | 自動露出制御機能を有すること。 |  |
| 7 | Ⅹ線グリッド格子比は10：１で、格子密度は40本/ｃｍおよび撮影距離130±20ｃｍに対応できること。 |  |

立位撮影台について

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| NO | 仕様 | 回答 |
| 1 | 撮影中心の最低位置は、床面から４5cm以下であること。最高位置は165ｃｍ以上であること。 |  |
| 2 | 胸部撮影に適切な、握り棒を正面撮影用および側面撮影用を有すること。 |  |
| 3 | カセッテトレイは、43ｃｍ×43ｃｍの平面検出器（ＦＰＤ）に対応できること。 |  |
| 4 | 4点以上の採光野を持つ自動露出制御機能を有すること。 |  |
| 5 | 線グリッド格子比は10：１で、格子密度は40本/ｃｍおよび撮影距離150±30ｃｍに対応できること。グリッド着脱が容易であること。 |  |

付属品

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| NO | 仕様 | 回答 |
| 1 | 防護衣掛け（保科製作所 PHC-2）を準備すること。 |  |
| 2 | 金属ラックを準備すること。 |  |

立臥位移設

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| NO | 仕様 | 回答 |
| 1 | 既存立臥位撮影台（オートシステム社）を新病院に移設すること。 |  |

以上